

- 1 武石公民館運営審議会
- 2 日 時 平成29年6月29日 午後1時30分から午後3時30分まで
- 3 会 場 武石公民館第6会議室
- 4 出席者 安部会長、近藤委員、大草委員、廣川委員、網干委員
- 5 市側出席者 清住公民館長、小山次長
- 6 公開・非公開等の別 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成29年 6月29日

協 議 事 項 等

1 開会

2 会長挨拶 (安部会長)

3 審議事項

(1) 平成29年 武石公民館事業計画について

(事務局)【資料に基づき説明】

(委員) 皆さんそれぞれの立場からご意見、ご質問があればお願いしたい。

(委員) 審議会の開催時期についてかなりの事業が既に終了しているので、出来ればもう少し早い時期に開催する方が良いのでは。

(事務局) 他館の審議会開催状況では3月頃に1回、秋に1回という所が多い。今回は総合センター整備事業がこの4月に動き出した事もあり、外部検討委員会も出来、この動きを見ながら一緒に説明させて頂くためこの時期になったが、次回以降事前に審議を頂いた中で事業を進めていきたい。

(委員) 9月26日から29日まで通学合宿とあるが、これは希望する子ども達のみか。ここから学校に通うのか。

(事務局) 通学合宿の対象は小学校高学年、定員は25名で実施予定。普段の生活の場を公民館に移して通学してもらう。市内では真田や川西公民館が15年前から実施している。また、中・高・大学生にお手伝いをして頂き、異年齢の繋がりの中で学んでもらうことがあればと考えている。

(委員) 日程は何日位で考えているか。また、信州型コミュニティスクールとの関連は。

(事務局) 日程は9月26日から9月29日までの3泊4日で計画している。細部は部会の中で審議中。

学校から帰って子どもたちの食事づくりのお手伝いなど、子どもたちを見守る役割を信州型コミュニティスクールだけでなく、地域の中から広く皆さんにお願いしたいと考えている。

(委員) 私は常々子どもたちの基本的な学力や、自分で充実した人生をどうやって作っていくかが大事と考えている。通学合宿は生きる力に繋がっていくと思う。中学校に上がる辺りで限界を感じる子どももいるが、自分で自分の未来を作っていくことが大事。公民館はそれぞれの家庭をバックアップする側面も非常に大きいと思う。通学合宿はまず第1歩を踏み出して頂き、生徒が成長するきっかけを作って頂ければ有難い。手伝ってくれる中高生のボランティアの姿を見て、こういう人になりたいと思ってくれれば良いと思う。非常に有り難い取り組みだと思う。信州型コミュニティスクールについては学校が主体となって取り組んでいく。

- (委員) 昔は地区単位で通学合宿の様なものやっていたが今はやっていない。こういう事をまたやってもらうのは良い事だと思う。
- (事務局) 依田窪南部中学は学生を地域に出したいと考えている。
- (委員) 私が考えているのは家庭学習を習慣化する事。それには公民館を活用して放課後学習を出来れば良いと思っている。そこにボランティアとして教師が参加する。今の児童館は騒がしく学習をする様な状況ではない。通学合宿の中で『学習が終わってから遊ぶ』などの習慣づけが出来てもらえば有り難い。また、通学合宿を通して公民館に学習する場が出来れば良いと思う。
- (委員) 芸能祭は年々出演する団体数が増えてきている。時間も午後1時から5時までと長すぎる。それぞれの団体の時間を短くしたり、幕の上げ下げも省略するなどして全体の時間短縮を検討出来ないか。
- (委員) カラオケで3番まで歌うのを1番までにしてもらうなど考えられないか。子どもたちの出演時間などプログラムの検討してもらいたい。
- (事務局) 今年度の企画の段階で組み立てられればと思う。
- (委員) 事前打合せの中で公民館が主体となって調整してもらえれば。
- (委員) 今年は合併10周年で火祭りや秋の文化祭と同時開催で記念行事があったが、実行委員会形式で皆で作りに上げていく形は非常に良いと思った。火祭りはとてもいいイベントだった。来年度は記念事業の様なものは考えているか。
- (事務局) 昨年度は合併10周年記念で市内の各地域で事業を計画した。通学合宿は実行委員会形式で行っている。他のイベントを実行委員会形式でという事については、ウォーキング事業を健康推進の観点から、健康推進部局や里山を歩く会との連携で地域協働の形で実施している。また、今後はともしび博物館30周年記念事業でイベントを開催出来ればと考えている。
- (2) 武石地域総合センター整備事業について
- (事務局) 【資料に基づき説明】
- (委員) 要望的なものだが、御柱お練り行事は歴史もあり、上田市の無形文化財に指定される県下に類を見ない300人もの行列で、伝統的な装束などを公民館で保管しているが、新しいセンターを造るにあたっては、お練り道具や装束などの保管庫を確保してもらいたい。また図書室についてはどのような考え方がか。
- (事務局) 第1回の検討委員会で保管についての話があった。ご意見は担当課へ伝えたい。また、図書室についてはエコールもあり、子どもたちの居場所としても図書室とあわせて学習室の設置を想定している。
- (委員) お練りの収納庫の件で、保管に外部施設を利用するという事になると、その都度ホールまで運んで練習するという事になると大変だ。お練り行事を実施するまで想定される事も配慮して欲しい。また、図書室については強力にアピールして欲しい。
- (委員) 図書室の学習室については、子供たちの学習の場としてもぜひ整備してほしい。
- (委員) 太鼓は今旧権現保育園に保管して練習しているが、公民館で保管出来れば練習し易くなる。ぜひ新センターでの保管の場所を考えてもらいたい。
- (事務局) 文化活動については大切なものと考えている。担当課に伝えていきたい。
- (委員) 利用料の関係も含み利用し易い形にしてもらいたい。
- (事務局) 利用料については先例の基準を元に決めていく事になると思う。利用者の視点に立った利用し

やすい施設となるよう整備したい。

(3) 社会教育法第 29 条及び上田市公民館条例第 11 条に基づく諮問事項について

(事務局)【資料に基づき説明】

(委員) 図式の資料があれば分かり易い。

(委員) 時間をかけて審議した方がいい。今、教育委員会の組織はどの様になっているか。

(事務局)【新年度の教育委員会の組織を説明】

(委員) スポーツの関係を市長部局へ移すという話があったが。

(事務局) 国際大会の関係と文化財を除く文化関係が市長部局になった。

4 その他

(委員) センター整備事業計画について市民が意見を言いたい時は何か窓口の様なものはあるか。

(事務局) 今後住民説明会を計画している。

5 閉 会 (安部会長)